

全野研ニュース

全国野菜園芸技術研究会

5月30日発行 第4号
発行所 全野研青年部
全野研 東京事務所
東京都千代田区神田司町2-21
TEL 03-3233-3634
FAX 03-3233-3666
http://www.zenyaken.com
E-mail yasai@zenyaken.com

全野研青年部会員を募集中

全野研青年部では技術情報の交流をより深化させるために会員を募集しております。20～50歳代まで、野菜栽培にかかわる方ならどなたでも結構です。

お名前、連絡先、メールアドレス、知りたい情報などを下記のメールアドレスに送付下さい。「全野研ニュース」をはじめ随時資料を送付致します。

メールアドレス：yasai@zenyaken.com



会（全野研、八幡昭雄）は第57回全国大会を7月24日（火）、ディズニリゾートのある千葉県浦安市舞浜（東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート）で開催する。大会のテーマは「産地から安全・安心野菜を全国に！」。がん



会（全野研、八幡昭雄）は第57回全国大会を7月24日（火）、ディズニリゾートのある千葉県浦安市舞浜（東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート）で開催する。大会のテーマは「産地から安全・安心野菜を全国に！」。がん



7月24日、生産加工販売に焦点あて

第57回全国大会を

千葉舞浜で開催

「産地から安全・安心野菜を全国に！」

野菜あれこれ

生産者と消費者の絆ももっと太く

野菜の仕事に携わるようになっていつの間にか60年もの歳月が流れたが、近年とみに感じることは、本来、日本人がもっていた「食の機軸」は、米を主食として野菜や海藻を副食に、そして魚や卵、肉でたんぱく質を補うものであったものを、戦後急速に欧米化を進め、体格の向上を目指し、それがこうして飽食傾向になり、肥満を増やし、生活習慣病を抱え、今日これが大きな社会問題になってきたことである。

日本人の体質に合う食事は、今や低カロリーで機能性に富む野菜抜きでは考えられなくなっており、国では「健康日本21」運動を推進し、1日の野菜摂取量や食事バランスガイドを示し、小児に食育をすすめるなど、健康的な食生活を実現するための野菜の重要性がさかんに啓蒙されている。それに呼応するように、近ごろ、テレビやラジオ、新聞は言うに及ばず、多数の女性誌や料理本、ミニコミ誌、ついに男性誌でも多くの野菜を取り上げられ、旬、出回り状況、調理法、簡単レシピなど、実に多彩な情報が飛び交い「やさしいアム」という言葉さえ聴かれるようになってきた。私の仕事にも少なからずこれらの影響が及んでいて、それなのに、この20

年来、日本の野菜消費量は減る一方なのである。韓国の22%増を筆頭に、欧米諸国は8～12%と順調に伸びているのに対して、日本人は眼と耳で野菜の知識だけを頭に蓄え、口からの摂取量は20%も減少しているのである。ここに来て、東北震災放射能汚染とその風評被害が重なり、これらが更に消費減の要素になるのではと懸念される。野菜で得られた栄養・機能性の知識がサプリメントに奪われようとしているのも心配である。

このような消費量の減少傾向をくい止め、正常な消費に繋げるのには、現行の諸対策ではどうにもならない限界があることを私共は深く認識し、これからの方向を探らなければならぬと思う。そこで最も大切なことは、野菜生産者・産地が消費者に好まれる「もっと食べたくなる、おいしい安心野菜」を積極的につくり、産地情報やその素性、利用特性を消費者に直接、マス・メディアを通じてではなく、自らが知らしめるべく、新趣向、POPなどの手法を駆使して提供し、その反響を直接知るなど、両者（生・消）の協調の絆を、とくに若い世代どうしの絆を、もっともっと太くすることである。一言前旬の野菜や特長野菜が店頭に出回ると、おばさんなどベテランの販売人がその素性や調理法まで客に知らしめ、消費を促したが、今はその説明者はどこにもいない。このような役割をも担い、野菜力を直接啓蒙するためにも、消費者（生活者）とのもっと太い絆の形成が望まれるのである。（板木技術士事務所 板木利隆）

生分解性マルチフィルム

カエル〜チ

バイオポリマー技術と配合・加工技術の融合により性能とコストバランスに優れた生分解マルチです。

土壌中で、水と炭酸ガスに分解されます。



MKVDREAM株式会社

最新の製品情報は当社ホームページをご覧ください。 <http://www.mkvdream.co.jp>

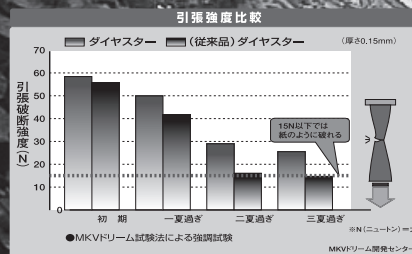
本社 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱樹脂ビル TEL 03-3279-3241 FAX 03-3279-6757

耐久無滴農POフィルム

5年耐久

ダイヤスター

耐硫黄性向上!



最新の配合技術により、ダイヤスターの耐硫黄性を向上させました。

抜群のスッキリ透明感!

しなやかな強さを実現!

無滴効果を持続!

全国大会で 特別講演する

かつもと よしのぶ

勝本 吉伸氏のプロフィール

▼略歴Ⅱ昭和34年（1959年）奈良県生まれ。千葉大学園芸学部卒業。奈良県農業改良普及員から会社員、農協営農指導員を経て、奈良県明日香村の農産物直売所「あすか夢販売所」の店長を開設時より8年近く務める。また、店長を務めながら、イチゴ狩り園の開設、地域特産品の開発や販売。地産地消全国協議会専

任アドバイザー
著書Ⅱ「農産物直売所
出品者の実践と心得
100」(家の光協会)
「あすか夢販売所は新鮮直売所」(幻冬舎ル
ネッサンス)
取組概要Ⅱ農産物直売
所の出荷者や運営者、
行政関係者を対象とし
た講演が年間100回
以上に上る。また、販
売所に対する経営改善
や農産加工品の開発支
援等を目的とした各地
の直売所の訪問が年間
数百か所を数える。講
演や直売所の訪問では、
直売所の責任者であつ
た実経験と知識を生か
し、現場に密着したコ
ンサルティング業務と
をとり入れたコンサル
ティング業務も展開し
ている。
メッセージⅡ農産物直
売所の店舗数は、全国で
16,800か所にも
及びます。5年前の調
査に比べて店舗数で3,
300か所、率にする
と24%もの大幅な増
加となっており、景気
の低迷が叫ばれる中に
あってこれほどまでの
伸びを示している産業
は他には見あたりませ
ん。直売所の人気の秘
密が新鮮で安価な農産
物の販売にあることは
います。

大会日程

7月24日(火)

10:00～	園芸資材・機器展示会（～18:00）
11:30	受付開始
12:30	開 会 主催者挨拶 全国野菜園芸技術研究会会長 八幡 昭雄 来賓祝辞 全国野菜園芸技術研究会総会経過報告 功労者表彰・感謝状贈呈
13:15	【基調講演】 「進めよう六次産業化への取り組み」 農林水産省食料産業局産業連携課 課長補佐 大橋 聡 氏
13:45	【特別講演】 「農産物直売所－生産者の実践と心得」 地産地消の仕掛け人（産直アドバイザー） 勝本 吉伸 氏
14:45	【調査報告】 「農産物直売所に関する消費者の意識調査結果」 日本政策金融公庫 農林水産事業本部情報戦略課 清水 良高 氏
15:15～	展示見学・休憩
15:40	【事例発表・パネルディスカッション】 「農産物直売所を利用した経営戦略」 (生産者) 千葉県八千代市 農事組合法人クラフト 代表 吉岡 一男 氏 茨城県結城市 岩崎 勤 氏 埼玉県北本市 加藤 浩 氏 神奈川県藤沢市 井上 和弘 氏 (助言者) 千葉県農林総合研究センター流通経営研究室主席研究員 栗原 大二 氏 日本政策金融公庫 農林水産事業本部情報戦略課 清水 良高 氏 (コーディネーター) 産直アドバイザー 勝本 吉伸 氏
17:40	大会決議・スローガン採択
17:45	第58回全国大会開催県挨拶
17:50	閉 会
18:00	交流会
20:00	交流会閉会

自動で換気

電動カンキット®

開閉は4とおり

- 自動開閉
- スイッチ操作での開閉
- リモコンでの開閉
- タイマー開閉

特長

自動、スイッチ操作、リモコン、タイマーで開閉できます。
2系統の温度制御が可能です。
制御盤1台で駆動機2台まで制御できます。
トランス盤増設で最大26台まで制御できます。
制御盤に液晶画面が搭載されています。(現在温度、設定温度、作業状況など表示)
スイッチボックスをトランス盤につなぐことで、一括開閉が可能です。
タイマー盤を使用すると15分間隔での開閉設定ができます。



応援したい…農業が好きだから
東都興業
ヒロ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-6-1
☎03-3566-0210 三井住友海上テブコビル

<http://www.toto-vp.com/>

ヒロッピー

第2回トマト・キュウリサミット 野菜・茶業研究所、 千葉大学の植物工場拠点も見学

全野研（八幡昭雄会長）とトマト・キュウリサミット実行委員会（大山寛委員長）は、2月28日・29日の両日、「第2回トマト・キュウリサミット」を茨城県つくば市で開催した。全国から生産者を中心に550名が参加した。農水省、茨城県、日本施設園芸協会、JA全農が後援、全野研協賛会、茨城県施設園芸研究会、農協観光が協賛した。

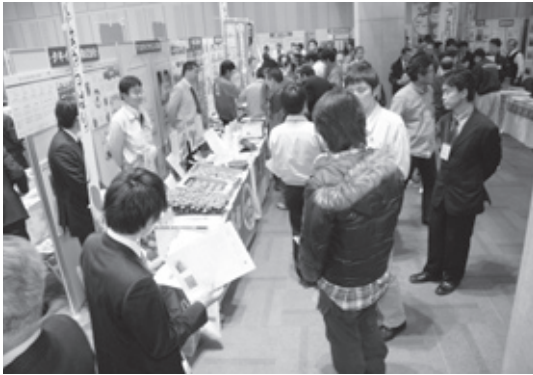
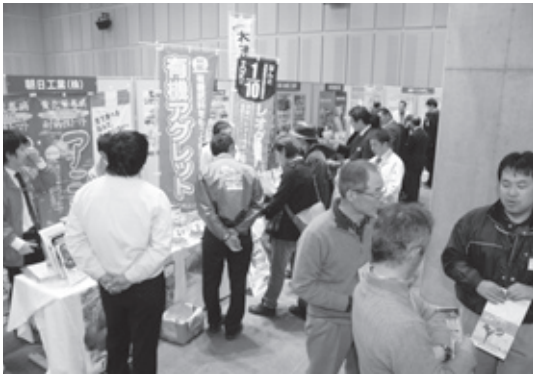
初日は、「夢のある施設園芸経営を目指して」をテーマで千葉大学元学

長（古在豊樹名誉教授）が特別講演を行った。古在名誉教授は「これからの施設園芸は、省資源的に生産される生産である。環境保全的な生産である。これを消費者に広く訴えることが必要で、その上で高品質と高収益を同時に達成することが目標」とを挙げ、効率的にCO₂を供給し植物の光合成速度を高める「ゼロ濃度差CO₂施用法」やCO₂・温湿度モニターを紹介した。

若手生産者の事例発表では、高軒高ハウス68aで5年後に50t穫りを目標にするトマト生産者の神保謙太郎氏（栃木県小山市）、トマトの土耕と養液栽培を組み合わせて直売所への周年販売と市場出荷を行う西山賢一氏（神奈川県厚木市）、22aのハウスでキュウリの促成・抑制の年2作を行う粕谷政輝氏の3氏が行った。



続くパネルディスカッションは、茨城県園芸研究所の鈴木雅人所長がコーディネーターを務め、3人の経営内容や導入技



術、今後の経営目標を話題にしなが、会場からの質問を交えて、昨今の原油価格の高騰と収量増大・品質向上、多収性・病害抵抗性品種開発の動向などについて議論が交わされた。特にCO₂施用と温湿度管理による光合成促進について参加者の関心が高かった。会場では、機器・資材・掲。



神保謙太郎氏



西山賢一氏



粕谷政輝氏

施設園芸・植物工場展開催 東京ビッグサイト

7月25日(水)～27日(金)の3日間

「施設園芸・植物工場展2012（GPEC）」が、施設園芸協会の主催により7月25日(水)～27日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催される。同展示会は、施設園芸と植物工場に特化した国内唯一の展示会。日本農業の強化につながる、最新のハウス栽培関連資材や、東日本震災で甚大な被害を受けた東北農業の復興にも寄与する話題の植物工場（太陽光利用型・完全人工光型）に関する製品技術・情報が一箇所に集まる展示内容となっている。全野研は大会の協賛となっており展示ブースも設ける。7月25日の午前中には、全野研青年部が全野研の活動を紹介します。プレゼンテーションを行う。生産者相談も行われる。

有機質肥料・液肥・葉面散布剤

微量要素入り液肥
サンライトアップ・ネオ
酒粕入り肥料
コージくん本生ペレット

埼玉農工機料販売株式会社
〒347-0116 埼玉県加須市戸室225
TEL 0480(73)5718
FAX 0480(73)0619

がんばれニッポン農業!!

純正木酢液
木紅木 キクノール

○親苗の苗床と定植場の土壌改良で、土と根を健康に
○健康な苗づくりで天候に左右されない良食味多収穫

キクノールとキトサンで
コスト削減・有機減農薬栽培を!!

有機JAS適合資材

30倍～500倍

土壌改良材

植物活性液

100%純正

木紅木 株式会社 (きくもく)

福島県いわき市好間町字大畑100
Tel 0246(36)5016・Fax(36)2314
<http://www.kikumoku.co.jp>

全野研（全国野菜園芸技術研究会）
青年部の活動を応援します —全野研協賛会—

NEPON

品質向上・収量増大・生育促進



CG-554T2

光合成促進機 **ガロウエア**

炭酸ガスの供給によって光合成を促進し、
植物の生長を活性化します！

- 小型軽量で設置場所を選びません
- 操作は時間を合わせるだけのタイマ式

別売の炭酸ガスコントローラを使えば
濃度管理による運転もカンタンにできます。

【オプション】
炭酸ガスコントローラ CGC-102



ネポン株式会社
<http://www.nepon.co.jp>

営業部
〒243-0215 神奈川県厚木市上古沢411
TEL(046)247-3269 FAX(046)248-6317

第2回トマト・キュウリ サミット 機器・資材・種苗展 展示内容

全国農業協同組合連合会

〒100-6832
東京都千代田区大手1-3-1TEL 03-6271-8322
FAX 03-5218-2541

＜出展内容＞JA全農は、生産者へ安心を届けるパイプハウス補償制度や割賦・動産総合保険、JAマーク品のクリンテート・JAノービ、省力化に貢献するトマト誘引用資材、青果物用の植物由来樹脂製バックを紹介。

MKVドリーム株式会社

〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱樹脂ビルTEL 03-3279-4772
FAX 03-3279-6757

＜出展内容＞日本の「食」と「農」を支えるソリューションカンパニーをめざして！
耐久POフィルム「ダイヤスター」、高機能カーテン「快適空乾」、生分解性マルチ「カエルーチ」、散水チューブ「エバフロー」、植物工場「トマトリーナ」「苗テラス」。

アグロカネショウ株式会社

〒359-0024
埼玉県所沢市下安松852TEL 04-2003-7004
FAX 04-2003-7302

東都興業株式会社

〒104-0031
東京都中央区京橋1-6-1TEL 03-3566-0210
FAX 03-3566-0202

＜出展内容＞ハウスを効率よく保温できる空気膜システムのTSエアユニット。ハウスの屋根、カーテン、側面部に作った空気層により断熱効果を高め、燃料の使用量を削減します。電動カンキットとの併用で自動巻き上げ換気が可能。防虫ネット展張が簡単なニューツマソー。

エーザイ生科研株式会社

〒861-2401
熊本県阿蘇郡西原村烏子312-4TEL 096-279-3133
FAX 096-279-2897

＜出展内容＞当社は微量要素までの詳しい土壌診断に基づいた健全な土づくりと「メリット」の葉面散布などによる生育コントロール技術を柱に活動しております。今回は当社の提案する「中嶋農法」とミネラルバランスに着目した土壌診断や関連資材を紹介。

日本ワイドクロス株式会社

〒370-1406
群馬県藤岡市浄法寺866-12TEL 0274-50-3303
FAX 0274-50-3250

＜出展内容＞「すこやかな農業を念じて」を企業理念に、防虫ネットの決定版のサンサンネットを始め夏場の高温対策にら〜くらくスーパーホワイト、タイベックを使用した、内張カーテンTVシリーズやスリムホワイト。

ベルグアース株式会社

〒798-3361
愛媛県宇和島市津島町北灘甲88-1TEL 0895-20-8231
FAX 0895-32-6183

＜出展内容＞接木苗生産量日本一 年間生産本数2,500万本 今春から茨城農場可能予定 無農薬完全閉鎖型育苗 e 苗シリーズ 低コスト接木苗の決定版 ノードメイク苗 省力化・直接定植苗 アースストレート苗 苗からの病害対策 高接木苗・ワクチン苗

みかど協和株式会社

〒267-0056
千葉県千葉市緑区大野台1-4-11TEL 043-311-6300
FAX 043-205-5501

＜出展内容＞今回、みかど協和より、トマト「みそら64」とミニトマト「cf小鈴」、「ラプリー藍」、「ラプリーさくら」の4品種の青果物を展示。ラプリーシリーズは、施設栽培でも能力を発揮できる品種。

株式会社 サカタのタネ

〒224-0041
神奈川県横浜市都筑区仲町台2-7-1TEL 045-945-8802
FAX 045-945-8803

＜出展内容＞品種開発から種子・プラグ苗の供給、育苗・栽培管理に役立つ資材まで、トマト栽培を全面的にバックアップいたします。話題の品種成形培土を利用したプラントップ苗、用途に応じた高機能液肥を紹介。

ネポン株式会社

〒243-0215
神奈川県厚木市上古沢411TEL 046-247-3111
FAX 046-247-2051

＜出展内容＞今シーズン暖房機の調子はいかがでしたか？
メンテナンスのご相談等お気軽にブースへお越しください。弊社はハウス警報システム「なんモニ」、ネポンFAN、複合環境制御盤、機器カタログを展示。

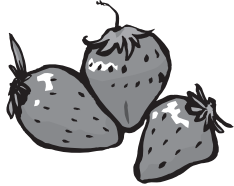
平成24年度
病害虫発生予報第2号
5月17日

施設栽培

・気温上昇に伴い、栽培管理上施設を開放する機会が増えるので、病

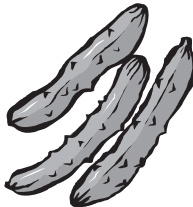
害虫の発生予報情報は次の通り。
・麦では、赤かび病の発生が多くなると予想されます。適期を逃がさずに防除を実施してください。
・施設栽培では、いちごのハダニ類、トマトの灰色かび病の発生が多くなると予想されます。ほ場の観察を行い、早期発見に努め、適期に防除を実施してください。
・果樹では、カメムシの発生が多くなると予想されます。越冬場所である山林等からの飛来が予想されるため、園内の観察を行い、飛来初期からの防除に努めてください。

いちご



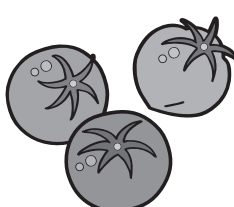
・ハダニ類の発生は、関東の一部地域で「多い」、または「やや多い」、甲信、近畿及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本書虫は、発生密度が高くなつてからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での薬剤防除を実施してください。

キュウリ



・アザミウマ類の発生は、四国の一部地域で「多い」、関東及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本書虫は、発生密度が高くなつてからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での薬剤防除を実施してください。

トマト



・灰色かび病の発生は、北陸及び四国の一部地域で「多い」、関東の一部地域で「多い」、または「やや多い」、近畿及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本書虫は、施設内が適湿になると発生が助長されるので、作物の株間の通風を図る等により、適湿にならないように施設を管理してください。また、本病の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。

農林水産省 登録第 22397 号

べと病・疫病の
専用剤

ぶどう



きゅうり



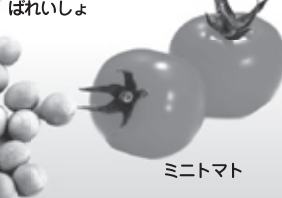
たまねぎ



ばれいしょ



だいず



ミニトマト

殺菌剤

ベトファイター®

顆粒水和剤

高い予防性と残効性

持続的にべと病・疫病の発病を抑制できます。

高い初期感染抑制効果

すでにべと病・疫病菌が植物体内に侵入した直後の状態(病徴発現前)であっても、発病を抑制できます。

優れた浸達・移行性

散布ムラを生じても安定した防除効果が期待できます。



ベトファイター顆粒水和剤は、米国デュポン社のシモキサニル、およびクミアイ化学工業(株)のベンチアバリカルフィソプロピルを有効成分として含有しています。

●ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1

☎ 03-3245-6178

FAX 03-3245-6084

http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/

第2回トマト・キュウリ サミット 機器・資材・種苗展 展示内容

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 群馬県前橋市古市町1-50-12	TEL 027-251-1611 FAX 027-290-1086
〈出展内容〉カネコのベジスイーツRベストセレクション！ 食味にこだわった個性派品種大集合！ 甘さ広がるミニトマト「ルビーラッシュ」、新食感！ 縦長オレンジミニトマト「キャンドルライト」、フルーツ感覚の甘さ「イエローミミ」、おいしい味と抜群の歯切れ「四川2号」。	

株式会社 久留米原種育成会

〒830-0064 福岡県久留米市荒木町藤田1422-1	TEL 0942-26-2943 FAX 0942-26-3235
〈出展内容〉キュウリ・台木・ゴーヤの育種・販売を行っています。皆様のご愛顧を賜り、おかげ様で創業64年目を迎えました。これからも、良い品種で社会に貢献できるよう努力いたします。「輝世紀」「シルフィーパワー1・2号」「オーラ2号」が好評発売中です。	

埼玉農工幾料販売株式会社

〒347-0116 埼玉県加須市戸室225	TEL 0480-73-5718 FAX 0480-73-0619
〈出展内容〉・有機質肥料 ・液肥 ・葉面散布剤	

有限会社 木紅木

〒970-1153 福島県いわき市好間町上好間字大畑100	TEL 0246-36-5016 FAX 0246-36-2314
〈出展内容〉全野研として唯一、推奨され続けている木酢液「木紅木キクノール」。キトサン液との混用でセンチュウや根腐れなど発生しやすい土壌環境の改良のために、作付け前から収穫中まで時期を選ばずにご使用いただけます。是非、お試しください。	

バイオテックジャパン株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-15	TEL 03-3219-5351 FAX 03-3219-5680
〈出展内容〉連作障害・病気・害虫・根の張り・樹勢・味・収量など気になっていることは何ですか？ カニ殻、活性炭、海藻粉末などに有効微生物を吸着させた土壌改良資材：アグリPソイルなど目的にあった商品を展示。	

アリスタライフサイエンス株式会社

〒104-6591 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー38階	TEL 03-3547-4415 FAX 03-3547-4695
〈出展内容〉アリスタライフサイエンス㈱はキュウリ栽培の大敵、退緑黄化病を媒介するコナジラミ、黄色えそ病を媒介するアザミウマの防除に効果の高いスワルスキーに加え、新製剤スワルスキープラスを紹介。また、トマトの授粉に新型巣箱のナチュポールも紹介。	

日本クリントン株式会社

〒121-0836 東京都足立区入谷5-7-8	TEL 03-3854-8221 FAX 03-3854-8228
〈出展内容〉全国で2,000ヶ所以上の施設園芸農家で災害時の非常用電源として活躍しているトラクターPTO発電機。エンジンを搭載していませんので故障が一切ありません。生産者の皆様、まさかの災害時に備えて低コストのPTO発電機をお勧めします。	

三基計装株式会社

〒335-0031 埼玉県戸田市美女木4-19-15	TEL 048-422-9201 FAX 048-422-9207
〈出展内容〉当社は、栽培に重要な温度・湿度・日射量の制御技術を中心に、養生室・発芽室・温室内制御装置・遠隔監視サービス等の設備から、植物工場やカット野菜工場まで幅広い分野で施設園芸を支援する「熱と光とエネルギーのソリューションプランナー」の会社です。	

片倉チッカリン株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5	TEL 03-5216-6614 FAX 03-5216-6621
〈出展内容〉弊社は、創業より96年の歴史を持つ肥料メーカーです。特に有機質肥料の製造・販売に大きな実績を持っております。展示会では、新規資材と関東地区での重点推進銘柄について紹介。	

株式会社 くらぜん

〒304-0005 茨城県下妻市半谷491-22	TEL 0296-43-8000 FAX 0296-44-3418
〈出展内容〉分子振動性装置ハイエット／自然の赤外線がエネルギー／育成光線を水に作用させ吸収性と浸透性抜群 植物の発芽発根、生育促進に作用しています。	

大倉電機株式会社／湘南グリーン

〒389-2234 長野県飯山市木島860	TEL 0269-62-1108 FAX 0269-62-1349
〈出展内容〉園芸ハウス用補助暖房器の紹介です。ハウス内へ乾いた蒸気を送る事で保温力を増やし、加湿機の燃料削減に効果があります。また遠赤外線により作物の生育促進も期待できます。	

株式会社 アグリセクト

〒302-0017 茨城県取手市桑原520-2	TEL 0297-70-0044 FAX 0297-72-7744
〈出展内容〉施設栽培を補助する資材展示。植物体の成長度合いを現わす「植物モニターかんさつ君」、授粉作業の省力化にマルハナバチ類、害虫の予察捕殺に粘着資材類、そして減農薬実証に天敵製剤類など、資材の実物展示。	



大塚アグリテクノ株式会社

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2 大塚製薬神田第2ビル9階	TEL 03-5297-2626 FAX 03-5297-2200
〈出展内容〉大塚アグリテクノ㈱は、トマト、キュウリ栽培に利用できる養液土耕システム、各種肥料（ソイルマスター602,亜リン酸粒状肥料など）、各種農薬（ハチハチ乳剤、オレート液剤など）を扱っています。	

株式会社 加藤工業所

〒322-0033 栃木県鹿沼市府所町20	TEL 0289-65-3121 FAX 0289-65-3124
〈出展内容〉応援します、土づくり。人に安心・地球に安心・あしたに安心。精選された動物質有機を原料とした高品質・多収穫を目指す皆様へ良質な動物質有機肥料をお届けします。新微生物改良材ネニソイル（栃木県共同特許取得）で土を育み根に活力を。	

株式会社 埼玉原種育成会

〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616	TEL 0480-85-0854 FAX 0480-85-0407
〈出展内容〉より収益性の高い経営をしていただくために高品質で多収性に加え、耐病性・省力性等、多様な要望にお応えします。高品質時代の先駆け品種ハイグリーン、褐斑病に強いマジカル1号・2号・極光607・ちなつ。新たに省力品種カレラ・千秀2号をお届けします。	

株式会社 ときわ研究場

〒355-0167 埼玉県比企郡吉見町田高087	TEL 0493-54-1155 FAX 0493-54-1332
〈出展内容〉露地用主力品種「パイロット」「光琳」「大望Ⅰ」「光望」、ハウス用主力品種「ズバリ163」「プロジェクトX」「エテルノ」に加え新たに露地用耐病性品種「光耀」、ハウス用に「アドニス」「アイリス」が加わり、様々なニーズに対応しています。	

東海物産株式会社

〒512-0923 三重県四日市市高角町2997	TEL 059-326-3931 FAX 059-326-6758
〈出展内容〉葉にダメージを与えず、長期間・大量の葉面施肥を実現した葉面散布肥料「ニュートリバントプラス」、土壌や養液のPHを適正に保ち、かん水チューブなどの目詰まりを防止する養液土耕・養液栽培用肥料「ニュートリバントドリップ」を紹介。	

タキイ種苗株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-6-1	TEL 03-3292-3711 FAX 03-3292-3705
〈出展内容〉食味が特に優れる桃太郎シリーズ、中玉トマトのフルティカ、ミニトマトの千果シリーズ、耐病性に優れる夏秋キュウリ、スタミナに優れるキュウリ用台木を紹介。また、栽培に役立つ液肥、遮光資材等も用意。	

朝日工業株式会社

〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222	TEL 0274-52-6304 FAX 0274-52-4534
〈出展内容〉肥料事業部は当社独自の有機肥料原料を保有し、最新鋭の設備にて有機成分が高い「アグレット」シリーズなどを製造・販売。種苗部では黄化葉巻病耐病性の大玉トマト「アニモ」をはじめ病気に強く安定して収穫できる品種の開発・販売。	

農業用くん煙剤普及協議会／日本曹達株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井3-34-3	TEL 03-5753-5100 FAX 03-5753-5101
〈出展内容〉農業用くん煙剤は薬剤散布などに比べ省力的で、使用者と薬剤との接触も殆ど無いため、適正な使用方法の下では安全性が高い病害虫防除方法です。また、施設内湿度を高めないため、病害発生の誘発もありません。くん煙剤使用の実際を動画で紹介。	

株式会社 プランツファクトリー・インザイ

〒270-1325 千葉県印西市竹袋470-4	TEL 0476-42-5449 FAX 0476-42-3114
〈出展内容〉千葉の印西市で野菜苗づくりを長年行っています。最新の施設である閉鎖型育苗も取り入れ徹底した病害虫対策を行い、高品質な苗をお届けします。苗見本も展示。	

ダイオ化成株式会社

〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー13F	TEL 03-6830-3010 FAX 03-6830-3011
〈出展内容〉大発生の兆しのある黄化葉巻病にはダイオ化成の極細目防虫網「ダイオサンシャイン」でシルバーリーフコナジラミの侵入防止が効果的です。他にも高湿対策資材や防草シート、内張りカーテンなどトマト、キュウリの栽培に役立つ資材を多数展示。	

デュポン株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-1-1	TEL 03-5510-3563 FAX 03-5510-3502
〈出展内容〉新規有効成分を含有した園芸用殺虫剤プレバソnfフロアブル5はチョウ目、ハエ目など幅広い殺虫スペクトラムと長い残効を特長としています。散布だけではなく、定植前の灌注処理においても卓効を示します。定植前の灌注処理技術について紹介。	

株式会社 誠和

〒374-0024 群馬県館林市本町1-8-2	TEL 0276-73-7717 FAX 0276-73-8186
〈出展内容〉トマト・きゅうり栽培には欠かせない、新商品プロファイnderを展示。ハウス内の温度・湿度・CO2濃度・照度を測定し、パソコンでリアルタイムに確認、データを管理することで収量&品質アップに繋がります。	

株式会社 フジック

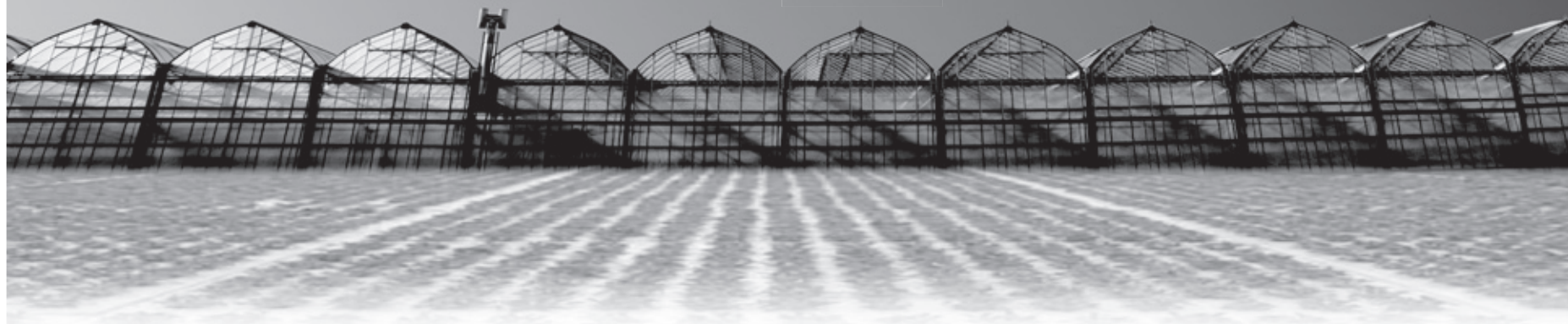
〒175-0092 東京都板橋区赤塚1-17-16	TEL 03-5997-1011 FAX 03-5997-1171
〈出展内容〉ヤシの実の土壌改良材「ペラボン」を扱っている㈱フジックです。「ペラボン」は土耕のすき込み・マルチ材、養液栽培の培地、育苗など幅広く使用されていて、土壌の通気性、水はけ、水もちを良くしてくれる地球にやさしい「エコ商品」。	

GPEC

施設園芸・植物工場展

Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference

がんばろう！ニッポンの農業
つなげよう！施設園芸の絆



2012.7.25水▶27金

10:00▶17:00 東京ビッグサイト 東4ホール

主催：社団法人 日本施設園芸協会

後援：農林水産省、経済産業省、全国農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会、全国農業会議所、
全国農業共済協会、農林中央金庫、株式会社日本政策金融公庫（順不同）

共 催：アテックス株式会社

賛 賛：オランダ王国大使館、駐日本国大韓民国大使館、千葉大学園芸学部、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、園芸学会、JA包装園芸資材協会、植物工場普及振興会、
(社)全国農業改良普及支援協会、全国農業資材商業会、全国野菜園芸技術研究会、一般社団法人 太陽光発電協会、日本園芸農業協同組合連合会、(社)日本花き卸売市場協会、
(社)日本花き生産協会、(社)日本果樹種苗協会、(社)日本種苗協会、日本生物環境工学会、(社)日本農業機械化協会、(社)日本農業機械工業会、日本農業気象学会、
(社)日本農業法人協会、(財)日本花苗センター、日本ばら切花協会、日本セニール工業会、日本肥料アンモニア協会、(社)日本有機質連合会、日本葉液栽培研究会、(株)農協観光、
農業施設学会、(社)農業電化協会、農業工業会、(財)ヒートポンプ・蓄熱センター、野菜ビジネス協議会、青果物カット事業協議会、青果物選果予冷施設協議会（※不同）

展示内容	施設本体		付帯設備・機器	施設園芸・植物工場関連設備機器・資材					テーマゾーン	特設ゾーン	その他
	 ハウス・太陽光利用型 植物工場	 完全人工光型 植物工場	 施設園芸用	 植物工場用 (太陽光利用型・完全人工光型)	 種苗、育苗資材、 育苗システム	 肥料、農業	 収穫、選別、運搬、 包装資材、包装システム	 生産・栽培管理システム、 IT関連機器	 各種センサー、 計測システム	 自然エネルギー・省エネ機器・ 省エネ資材ゾーン	 流通・加工・ 鮮度保持

併催行事：施設園芸・植物工場の最新情報を発信するセミナー（全セッション聴講無料）と主催者展示コーナーを実施

お問い合わせ：施設園芸・植物工場展(GPEC)事務局 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館32階 アテックス(株)内
Tel:03-3503-7611 Fax:03-3503-7620 E-Mail:ofc@gpec.jp

入場料：1,000円(税込) ※招待券持参者、Web事前来場登録者は無料！
併催行事・セミナー聴講申込の詳細は、公式Webサイトにアクセス！

》》》》 www.gpec.jp